



八重桜

●発行／桜の聖母短期大学同窓会 〒960-8112 福島市花園町3-6
Tel・Fax 024-534-4572 (534-7137 短大事務室)

平成26年3月末現在
卒業生総数／10,962名



写真：左側特別教室、右側体育館(西側運動場から撮影) 撮影：ワタナベスタジオ

復興応援

同窓会から小学校へ30万円寄付(関連P.5)
桜の聖母学院小学校

体育館・特別教室棟 落成

耐震上不安があつた小学校木造旧校舎を昨年5月解体し、その跡地に体育館と特別教室棟の改修工事が行われていたが、この3月13日竣工する。新体育館は、鉄筋コンクリート造、鋼板葺、床818・68㎡、現体育館の約1.3倍の広さ、特別教室棟には、校長室、保健室、職員室、2階に図工・万能室などが完備された。

外壁に込められた熱き思い再び

外壁は短大本館(2000年4月竣工)と同系色、聖マルグリットのゆかりの石などが外壁タイルに砕いて混入された(注)。屋根は本館より明るいグリーンの美しい堅牢な2棟の建物である。

昭和56年竣工の現在の小学校校舎(北側3階建)は、児童たちの教室などで、校長室、教職員室、理科・図工室などは、これまで木造校舎(元短大草創期の校舎・1・13回生、その後一時期中学校校舎)を使用、児童を大事にしてきた。

こうした経緯から、この度の体育館・特別教室新築は、児童、教職員のみならず、保護者や関係者たちには待ちに待った建物である。

川田小学校長は、3月17日全児童と共に、披露を兼ねて落成式を開く。式に先立ちサレジオ会管区長山野内倫昭神父様による建物祝別式には、建築BOXオカモト・松井建設関係者、CND寺島管区長や柴田学院長はじめ近隣幼稚園や法人関係者、教職員らが同席、児童による和太鼓発表も予定。式後、茶話会も開かれる。

竣工後急いで落成式を催すことの校長の意向は、児童、特に巣立つ直前の卒業児童たちに館内で思い切り体いっぱい飛び回ってほしいとのことで、保護者の間で話題を呼んでいる。

(注) 『八重桜』No.24 P.1参照

2000年マルグリット館落成の記事で掲載。大森喜人氏(元鹿島建設)は、建物に創立者の精神を込めるべく聖マルグリットにゆかりのあるフランスのトロワヘ行基、教会の石片を持ち帰り、レンガに混ぜ焼いた。今回新築2棟に短大本館の予備に取ったレンガを砕いて再び焼き上げた。

第33期通常総会開催

日時／平成27年6月7日(日)

10時～14時

会場／マリアンホール

学生ホール(Rm.105)

会費／2,000円(当日受付にて)

内容／・通常総会・母校の紹介・懇親会

・第5回ホームカミングデー

古稀(9・10回生)・還暦(19・20回生)を祝う会

・会終了後、「CND記念室」の見学自由

同封のハガキにて、出欠をお知らせください。 4月20日(月)〆切 FAX可／E-mail可

運営検討委員会

委員長 齋藤 良子

本委員会では任期中、アドバイザーの上野先生を迎え「同窓会会則」「内規」について、運用実態に沿ったものとするための検討を行い、変更案を得ましたので予めお知らせいたします。

桜の聖母短期大学同窓会会則

- 第3章 役員、回生委員及び職員**
 (役員)第6条 本会には、次の役員をおく。
 ① 会長、副会長2名、会計2名、書記2名(現行)を会長、副会長3名、会計3名と改める。
- 第5章 総会**
 (総会)第15条 3項として新たに総会には議長をおき、会長が指名する。を加える。
- その他 会則に追加する条文
第7条 (監事及び会計監査)
 2項 会計監査は、毎年度本会の会計処理について監査し、その結果を総会及び役員会に報告する。

第9回 いこいの広場 6/15(日)

テーマ「希望への歩み」と題し、Sr.笠原節子修道院長にリーダーを、オブザーバーをSr.今泉ヒナ子先生にお願いし、修道院にて開催されました。



ヨハネ福音書14章1〜7節 8〜15節の朗読、1節ごとの笠原先生の深く、簡潔な解説の後、各々が心にとまった聖書のことばを選び感想の発表。祈りの時間、聖歌合唱、分ち合い、最後に聖書を書き写す「謹書」を体験することも出来ました。



《お知らせ》

次回第10回『いこいの広場』開催について
 リーダー：Sr. 今泉ヒナ子先生
 開催日：後日、ホームページその他でお知らせいたします。
 問い合わせ先：同窓会事務局

日常の喧騒から離れ、静かに自分を見つめ直す良い機会を与えられ、一同顔の表情がにこやかに修道院を後にしました。

委員会活動

グリーンボランティア

で行いました。7月が夏から秋向き、12月が冬から春向きの寄せ植えです。学生通用門と生涯学習センター入口でみんなを出迎えていただきます。どうぞご覧ください。

プランターの花の植え替えを7月30日と12月1日の2回、ボランティアアスタツフ4名

第33期通常総会開催

母校のあゆみ - その歴史 -

今年度(平成26年)から、新しく2名が委員に入りました。
 毎年発行の『八重桜』第37号と、母校創立60周年記念として別企画も編集しました。

広報委員会

クラス会開催のご案内

9回生英語科・家政科 合同クラス会のご案内

平成27年6月7日(日)

総会と「ホームカミングデー」終了後「合同クラス会」を開きます。飯坂温泉泊を予定しています。詳しいことは、後日各々に通知いたします。

10回生 英語科・家政科の皆様へ

「ホームカミングデー」終了後「合同クラス会」を開きます。飯坂温泉泊を予定しています。詳しいことは、後日ご通知いたします。ぜひご出席ください。

19回生食物栄養科 クラス会のご案内

平成27年6月7日(日)

宿泊／奥飯坂「摺上亭大鳥」
 福島市飯坂町字中ノ内24の3
 024 (542) 4184
 詳しくは別便葉書にて。皆様の参加お待ちしております。

19回生 家政学科の皆様

「ホームカミングデー」終了後、場所を替えて「クラス会」を開きます。皆さんで顔を合わせれば、きっと若いころの私たちが待っています。詳しくは、後日、各々にご通知いたします。

20回生 英語学科・家政学科の皆様へ

総会と「ホームカミングデー」終了後「合同クラス会」を開きます。お時間のある方は、カフェテリアにて思い出話を楽しみませんか。

お問い合わせ／各クラス回生委員(P6参照)まで

第48回

あかしや祭に協賛

第9回

チャリティ バザー

11月2日(日)

同窓生や地域の皆様方から沢山の品物をご提供いただき、当日は、ボランティアスタッフに支えられ、ほとんどの品物を売ることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



学内便り

遠藤学長から学生が「あかしや祭」を通して経験したことを同窓生の皆様にお知らせしたいとのことで、あかしや祭実行委員のキャリア教養学科2年 神田優希さんに寄稿いただきました。

「あかしや祭について」

キャリア教養学科2年 神田 優希

私は、あかしや祭の広報係のリーダーを担当しました。広報の仕事は初めてだったため、きちんと完成させることができるのか、自分や周りが納得のいくパンフレット・ポスターができるのかなど、不安でいっぱいでした。しかし、昨年の先輩が残してくれた引き継ぎ書や、多くの先生方からのアドバイスをいただき無事に完成させることができました。

パンフレットを作成するにあたって、まず、印刷会社さんを決めるために相見積もりをしたらどうかという先生の意見をいただきました。その時は、「相見積もり」という言葉すらわからず、その言葉を調べることからパンフレット作りが始まりました。私たち広報係の仕事は、文化祭自体の中身が決まらないと進めることができないものです。そのため、他の係との連携が大切になってきます。屋台の出店についてや、パフォーマンスのタイムスケジュールなど、全体を把握することが必要なのですが、ちょうど夏休みの時期だったので、各係で報告・連絡・相談をしあうことがとても大変でした。出店・出演する団体からコメントを回収するために締め切り日を設定しても、呼びかけが足りなかつ

たためその日まではなかなか集まらず、仕事をスムーズに進めることが出来ませんでした。しかし、あかしや祭実行委員会ではない人も呼びかけを協力してくれたので、締め切り日は過ぎてしまいました。が早めに集めることができました。

印刷会社さんが決定してからは、印刷会社の方がスケジュールを考えてくださり、それに沿って進められていくように心がけました。進めていくうえで、実行委員会の話し合いで決定したことや変更したことなどをその都度伝えなければいけないため、印刷会社さんとは主にメールでやり取りをしていました。メールでは伝えきれないことは、本学まで来ていただいて話し合うこともありました。印刷会社の方との話し合いでは、いつも親身になって考えてくださり、さまざまなアイデアを出していただいたおかげで今回、いつもの桜の聖母とは一味ちがう雰囲気のパoster・パンフレットを作り上げることができました。今年度の経験を生かし、次年度の広報係もスムーズに仕事を進められるように、きちんと仕事を引き継ぎたいと思います。最後に、今回の制作に、関わってくださった皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

恩師からの便り 第5回

39年にTHANK YOU!
感謝を込めて家政学科・元教授
佐藤 文子 先生

同窓生の皆様、ごきげんよう。私は、平成

26年3月に校の聖母短期大学を退職しました。現在62歳ですが、本学に勤務した時の年齢は何と22歳！当時は無我夢中で、若さだけが手柄で至らないことだらけでした。この場をお借りしてお詫びいたします。

人生の半分以上を本学で過ごし、いつも若い世代の学生さんと、いくつになっても若い気分と一緒に活動でき本当に幸せでした。この間、建物も変わり、改組などもあり、後半の仕事は学科や大学全体に関わることが多く、学生さんお一人お一人にゆつくりと関わる時間が少し足りなくなっていました。それでも、本学の特徴である顧問制度が救いとなり、教員としての原点に帰り、「今やれること」に集中することができました。顧問制度はいつまでも大切にしたいです。

退職後も今までとは違った忙しい生活ですが、自分なりの時間も大切にしております。卒業してからもお声をかけてくださる方がいらつしやり嬉しい限りです。これからも人生を歩む一女性として互いに励まし合っていきたいですね。

卒業生お一人お一人の人生が光り輝くようにと心からお祈りしております。

家政学科・元教授
小泉 泰宏 先生

卒業生の皆様、ごきげんよう。

昭和52年に校の聖母短大ファミリーの一員に加わって37年余り、主として栄養学や生化学分野の実験・授業を担当し、栄養士養成にかかわってきましたが、第58回生の卒業を見届けて平成26年3月に退職いたしました。在職中には、在学生の学習支援のために多くの卒業生の方々からご協力・ご指導をいただき心より感謝申し上げます。

食べることの大切さは昔も今も変わることはありません。しかし、原発事故によって放射性物質に汚染された土壌を通して、いかに「土」から多くの恵みを享受していたかを思い知りました。さらに、日々の食生活に欠かせない食材の多くが、実は自然界の食物連鎖の一部をつまみ食いしているものであることにも改めて気付かされました。これからは「食と健康」の分野について研鑽を積みながら、市井の一員として皆さんとともに地域の復興・創生に微力ながらかかわることができればと思っております。

計報

ご冥福をお祈りいたします

回生	会員名	旧姓	死去年月日
3K	新関スミ子さん(清野)		25・3・13
6E	遠藤 敏子さん(門田)		25・9・4
6E	田原恵美子さん		25・11・11
8E	玉山安紀子さん		25・5・18

中島 喜多子 先生
コンプレグション・ド・ノートルダム会員

本学元学長(1988～93)名誉教授
ご帰天 平成26年5月12日
(母校創立60周年記念)P2～3 関連

須田 光江さん
「2K」(旧姓 穴戸)

校の会会長、校の聖母学院高等学校同窓会会長、同短期大学同窓会会長(4期12年)を務め、会の発展に尽力されました。
平成26年12月26日死去

ご親族の許可を頂き告別式の弔電を掲載いたします。

社会でもいろいろな重責のある中で、校の会会長や、校の聖母短期大学同窓会会長のつとめを、須田光江さんは、長年にわたって果たしてくださいました。校の聖母の卒業生であることをいつも最大の誇りであると言ってくださった須田さんの多大なるご貢献に、学院も心からの感謝をお捧げいたします。

学校法人校の聖母学院
学院長 柴田 香代子

今年9回目のバザーに、8E故玉山安紀子さん提供こけし30数体が種々販売品の一隅を飾った。直ぐ最寄の愛好家やお客さんの手に落ち完売した。

このこけしは、玉山コレクション・福島大学元学長玉山勇先生(戦後愛好家と

ともに福島こけし会創設 平成元年逝去)の数千体の蒐集のほんの一部。先生の教え子、渡辺格氏(福島こけし談話会会員)のご仲介をいただきバザー当日、「こけし」「玉山コレクション」安紀子さん提供趣旨説明文が、こけしの側に展示

「こけし」が繋いだ同窓生の輪



あった。

ちなみに、玉山先生の5人姉妹はオール校の聖母学院、小・中・高・短大の卒業生。音信不通だった6E恵實子さん、12E万里子さんの居所も眞智子さんから、上3人姉妹は長崎市にお住まいとのこと。

あかしや祭協賛

第9回

チャリティーバザー収益金
復興応援・小学校へ寄付

役員会(12月1日)に柴田学院長、遠藤学長、川田小学校校長、遠藤事務長に來室いただき、齋藤会長から小学校体育館新築支援として30万円を学院へ贈呈した。尚今回の支援金には、バザー収益金、シスターの聖品販売益金、同窓会会員寄付金が含まれている。



学院の復興計画に基づき

2013年／幼稚園園舎完成
2014年／中学校舎耐震補強工事終了
(一部未完2015年完了予定)
2015年／小学校特別校舎・新体育館・新プール完成



桜の聖母学院被災後の教育施設整備は2015年で一応終了いたします。全体的にやや規模の縮小を目指しています。放射線汚染土はまだ地下に埋蔵されていますが、2017年には撤去すると公には言われています。そのあたりが、やっと終了となるのでしょうか。

小学校新体育館・新プール完成間近

桜の聖母学院学院長 柴田 香代子

創立から、今日にいたるまで、桜の聖母学院は意味深い長い歴史を持っています。一粒の種子が地に蒔かれ、芽をだし、成長し、実りと収穫があり、その過程に多くの方々の献身がありました。感謝以外にありません。その一つ一つを暖かく見守り、細やかな目配りをして、大木に育ててくださったのは主なる神です。聖書にあるように、水をやり、草取りするのは私達ですが、育ててくださるのは主なる神です。このように大きく育った大木も、いつの日か切り株から新しい芽が吹き、新しい時代が始まります。私はこの一連の工事の姿の中に、この新しい息吹きを感じています。

復興願う
「被爆サクラ」植樹

広島市のNPO法人「二葉の里に桜並木を復活させる会」から12月17日、原爆によって被爆したサクラから接ぎ木した“そめいよしの”2株が短大に寄贈され植樹式が行われた。爆心地のサクラを接ぎ木で増やす活動を続けている同NPOの田邊良平理事長は平成24年に学生が南相馬で開催した

邊理事長、柴田学院長、遠藤学長、学生代表、NPOアソートサロン広島の理事長、福島青年会議所の理事長、福島市NPOくらそうねツの理事長が植樹した。
花の季節どうぞ楽しみに。



田邊理事長御夫妻

福島学移動文化祭に参加し、福島も広島のように復興を遂げるのを願いサクラの寄贈を約束してくださった。約2年かけて接ぎ木を全長2メートルにまで育てこの日の植樹式となった。

植樹式は短大カフェテリア北側(バス通り沿い)で行われ、学生と教職員、同窓会が参加し、広島県知事からの電報が披露された。田



桜の聖母生涯学習センター便り

他自治体のモデルに...

『傾聴ボランティア養成講座』

生涯学習センター長補佐 三瓶 千香子

年間千人以上の受講生が学び合う生涯学習センターですが、震災以降の取り組みの中で最も注目を集めている講座があります。それが「傾聴ボランティア養成講座」です。ボランティアをして地域に貢献したいという声、共に不安を吐露し、語り合い、心を健全に保ちたいという声から作られた講座です。

特徴は、連続性と体系的にある点でしょう。まず、本講座は単発ではなく、1回4時間の講座を連続5回、計20時間を必要とします。傾聴とは人の心に寄り添うことです。傾聴とは人の心に寄り添う超えた言葉を聴かされることもあり、傾聴とはどういふものかという基本的な考え方と何回ものロールプレイングを通して、傾聴スキルを習得する時間が必要になってくるからです。



会津社協との協定書に署名し、挨拶するシスター遠藤学長

次に体系的ですが、傾聴ボランティアを高年齢者施設などで実践した受講生にはアフターケア講座というものがああります。これは傾聴ボランティアを実践した中で戸惑った

こと、嬉しかったことなどを互いにシェアし、経験から得た情報や感情から相互学習へ深化を...と企画しました。

さらに、相手との距離をより縮めやすくするスキルを身に付けるため、ワークショップ型の心理学講座、音楽療法士による講座、手品入門講座など多岐に渡る学習の機会も企画しました。

さらにさらに...この講座を決定的に特徴づけているのは、「傾聴ボランティアさくら」というボランティア組織が自然発生したところにあります。この講座を学び、実践的なボランティアを継続したい有志が立ち上げた団体です。各メンバーが高齢者施設や仮設住宅など多様な施設でボランティアを実践し、月2回は互いの体験を持ち寄り、情報提供をしながら自主的にスキルを向上させています。

この一連の動きが、今やほかの自治体のロールモデルとなりつつあります。2014年12月には、会津の社会福祉協議会と協定が結ばれ、2015年度から本講座は会津まで拡張していく予定です。

地域づくりの鉄則に「あるもの探し」というものがあります。私たちにあり、強み探しをしながら、地域とつながり、地域の学び舎になるため、生涯学習センターも日々、努力しております。

お問い合わせ先/TEL 024-535-2531

学内人事異動

平成25年度退職教員

小笠原正薫 共通教育・教授
川井 一枝 キヤリア教養学科・准教授
安田 尚子 キヤリア教養学科・准教授
千葉 あや キヤリア教養学科・助教
佐藤 文子 生活科学科食物栄養専攻・教授
小泉 泰宏 生活科学科食物栄養専攻・教授

平成26年度新任教員

山野 実 キヤリア教養学科・教授
田中 大介 キヤリア教養学科・准教授
木川田朱美 キヤリア教養学科・助教
木下 ゆり 生活科学科食物栄養専攻・准教授
市川 優 生活科学科食物栄養専攻・助教
奥田美由紀 生活科学科福祉ことも専攻ことも保育コース・講師

ホームカミングデーとは

会員の健康と長寿を祝い交流を深めながら母校の発達を願う会。
「古稀・還暦」のお祝いをかねている。

第5回ホームカミングデー回生委員

古稀祝

還暦祝

9E 小出 麗子(畠山)
9E 菅野 ユリ子(大戸)
9K 三品 一恵(三枝)
9K 松浦 チヨ(横山)
10E 菅野 静子(桃井)
10E 須藤 康子(笠間)
19E 内村 裕子(瓶子)
19K 八巻 永子(佐藤)
19D 山田 葉子(太田)
20E 林 元子(耕田)
20K 穴戸 郁子(丹治)
20K 紺野 紀子(丹治)

回生委員とは

同窓会と各クラスとの連絡係り。近年は同窓会入会式時に委嘱状を渡しております。

59回生委員

キヤリア教養学科

国分 郁実
星 芽唯未

生活科学科食物栄養専攻

佐藤 真里恵
椎根 愛由美

生活科学科福祉ことも専攻ことも保育コース

小野 まどか
全田 彩英

お知らせ

事務局より

『八重桜』等、同窓会より発送文書類の戻りが年々多くなっています。住所・氏名等変更がありましたら、同窓会事務局までご連絡ください。尚、同窓会費未納の方には、払込取扱票を同封しております。

編集後記

うららかな春となりました。『八重桜』第37号に加え「母校創立60周年記念」の編集ものをお届けいたします。皆様から貴重な御稿をお寄せいただき感謝いたします。今年は総会開催の年、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。ご感想などお寄せいただければ幸いです。

同窓会事務局

桜の聖母短期大学同窓会(月・水/9:00~16:00)

TEL・FAX 024-534-4572

Mail ssjc-dousoukai@cb.wakwak.com

URL <http://www.sakuranoseibo.jp/>